



ガラスフェス神戸に参加して

滋野晶江

本年1月23日、24日の両日、デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）にて「ガラスフェス神戸」が開催された。日本ステンドグラス作家協会はパートナーとして本催事に協力し、会員6名が出展参加した。

会場には約100のブースが設けられガラス作家による多彩な作品が展示販売された。ステンドグラスをはじめ、ランプワーク、フュージング、吹きガラスなど、さまざまな技法による作品が一堂に会し、会場はガラスの魅力あふれる華やかな空間となっていた。また、切子やアクセサリー制作の体験企画もあり、来場者がガラスに親しむ機会も用意されていた。



初日は開場前より来場者の列ができ、厳しい寒さの中にもかわらず、会場内はガラスのきらめきに包まれ、光と温もりに満ちた空気が感じられた。

さらに、出展者は北海道から沖縄まで全国各地より集い、海外で活躍する作家の参加も見られた。地域や国を越えて広がるガラスのつながりを、あらためて実感する機会となった。

私自身も「ステンドグラスの世界」と題した講演の機会をいただき、大変貴重な経験となった。短い期間ではあったが、異なる技法に触れ、作家同士の交流を通じて多くの学びと刺激を得ることができた。また、東京での活動が中心である当協会の取り組みを、関西の地で広く知っていただく機会にもなったと感じている。



講演
「ステンドグラスの世界」



バーナーワーク実演



JSGAA ブースで…



※ガスバーナーの高温（1～2000℃）の炎で、手元のガラス棒がまるで飴細工のように溶け、繋がりを繰り返す。繊細な技術と集中力。見事な作品（恐竜？）の出来上がり。

なお、第二回目は
2027年2月6
～7日に開催予定。